



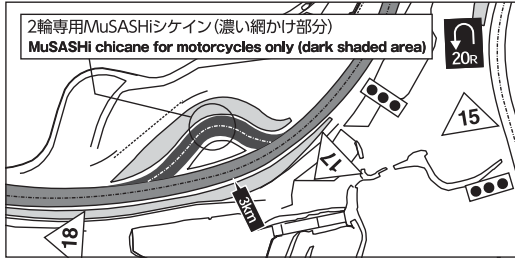
SUZUKA CIRCUIT

INTERNATIONAL RACING COURSE

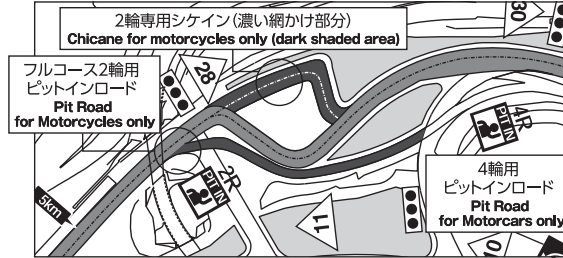
● イメージのため、形状・寸法など実際とは異なる場合があります。

April 2021 ©Mobilityland Corporation All Rights Reserved.

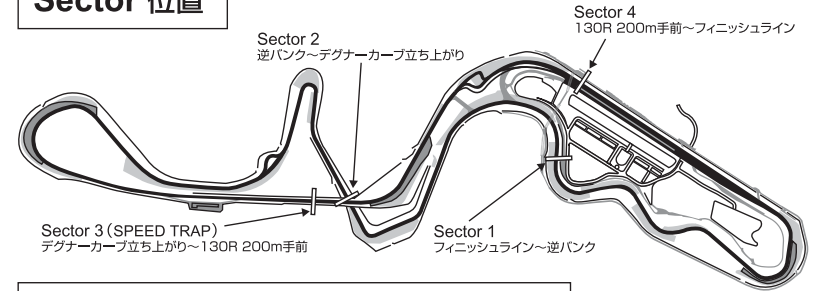
NISSINブレーキヘアピンから200R/MuSASHiシケイン From NISSIN Brake Hairpin to 200R/MuSASHi Chicane



日立Astemoシケイン Hitachi Astemo Chicane

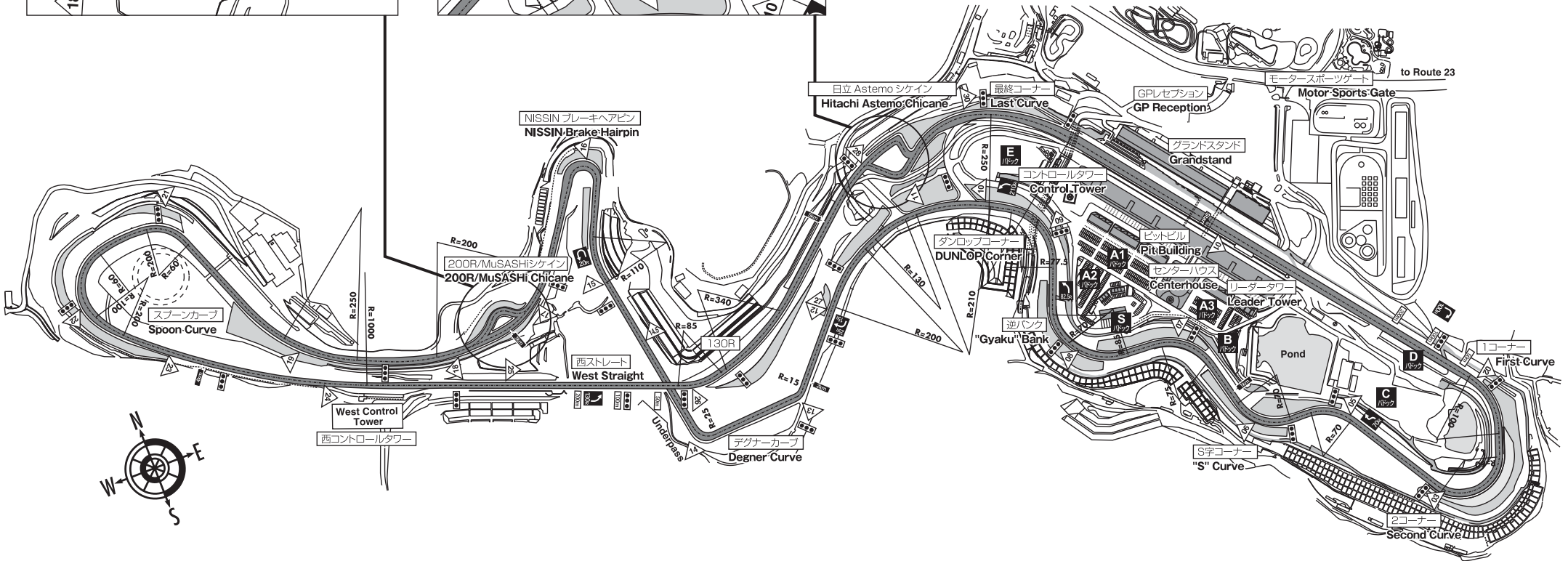


Sector 位置

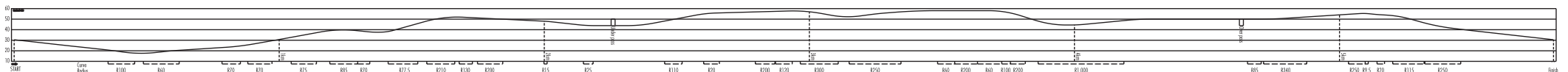


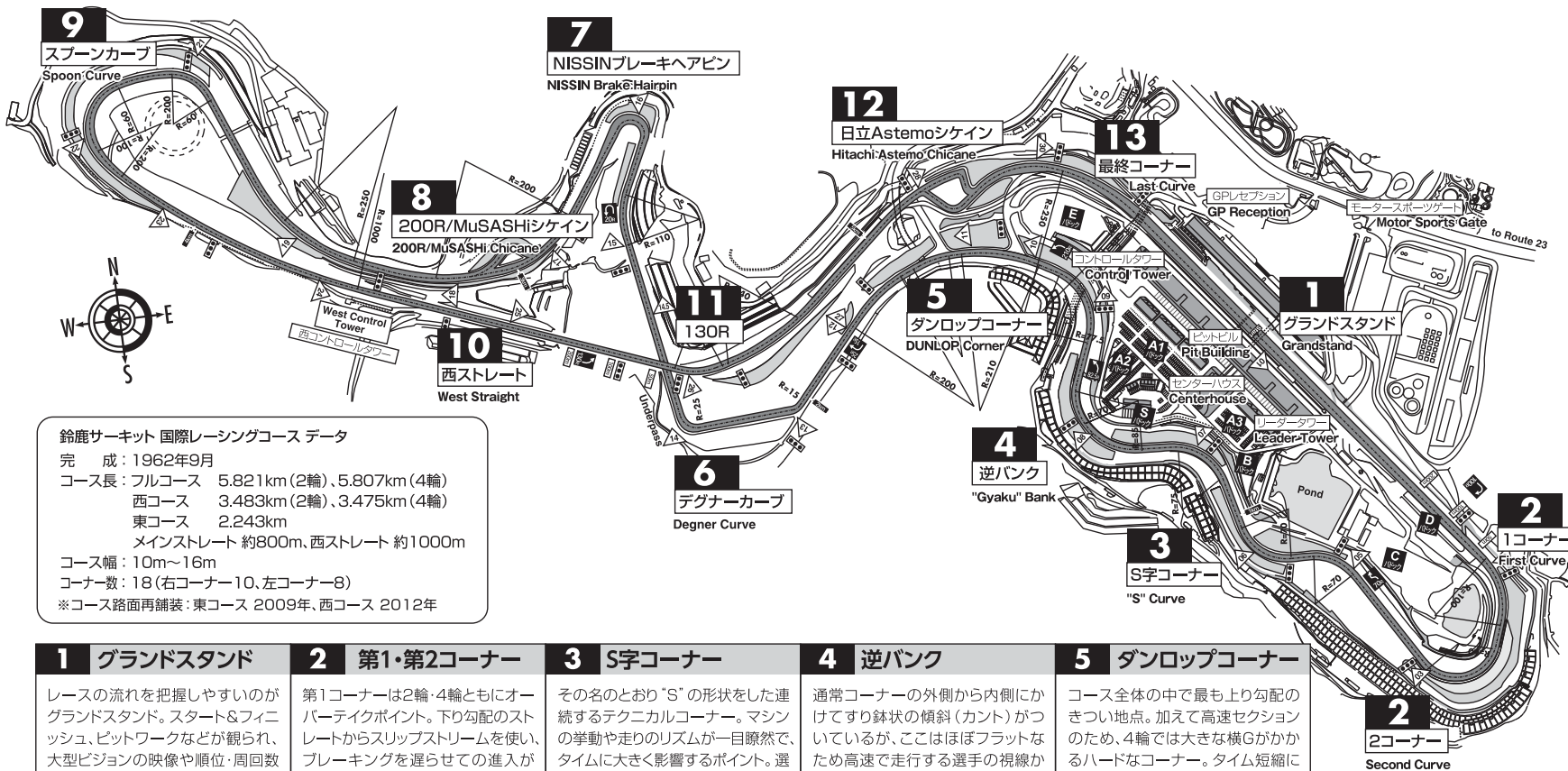
- 区間1 (Sector 1) 1,658m
- 区間2 (Sector 2) 936m
- 区間3 (Sector 3) 2,130m
- 区間4 (Sector 4) 1,084m

※区間3、4は4輪コースの距離です。



ELEVATION





鈴鹿サーキット 国際レーシングコース データ
 完成：1962年9月
 コース長：フルコース 5.821km(2輪)、5.807km(4輪)
 西コース 3.483km(2輪)、3.475km(4輪)
 東コース 2.243km
 メインストレート 約800m、西ストレート 約1000m
 コース幅：10m~16m
 コーナース：18(右コーナー10、左コーナー8)
 ※コース路面再舗装：東コース 2009年、西コース 2012年

<p>1 グランドスタンド</p> <p>レースの流れを把握しやすいのがグランドスタンド。スタート&フィニッシュ、ピットワークなどが観られ、大型ビジョンの映像や順位・周回数を表示するリーダータワーで、レースの情報が集約される。</p>	<p>2 第1・第2コーナー</p> <p>第1コーナーは2輪・4輪ともにオーバーテイクポイント。下り勾配のストレートからスリップストリームを使い、ブレーキを遅らせての進入が見える。スタート直後の大迫力も味わえる。</p>	<p>3 S字コーナー</p> <p>その名の通り“S”の形状をした連続するテクニカルコーナー。マシンの挙動や走りのリズムが一目瞭然で、タイムに大きく影響するポイント。選手のテクニックに加えてマシンセッティングをチェックするには最適。</p>	<p>4 逆バンク</p> <p>通常コーナーの外側から内側にかけてすり鉢状の傾斜(カント)がついているが、ここはほぼフラットなため高速で走行する選手の視線からは逆に傾斜しているような錯覚に陥る。</p>	<p>5 ダンロップコーナー</p> <p>コース全体の中で最も上り勾配のきつい地点。加えて高速セクションのため、4輪では大きな横Gがかかるハードなコーナー。タイム短縮には重要なポイントだ。マシンが高速で駆け上がるさまは迫力満点。</p>
<p>6 デグナーカーブ</p> <p>1962年、旧東ドイツの名ライダーE.デグナーが転倒したため、この名がつけられた。元は1つのコーナーだったが、1987年の改修により左右と連続する2つのコーナーになった。テクニックが要求されるポイント。</p>	<p>7 NISSINブレーキヘアピン</p> <p>髪をとめるヘアピンに似た形状から呼ばれる。デグナーカーブを抜け、加速したマシンが急減速するタイトな低速コーナー。ブレーキの攻防が多く繰り広げられる、撮影にも人気のポイント。</p>	<p>8 200R/MuSASHiシケイン</p> <p>NISSINブレーキヘアピンを抜けたマシンが一気に加速していく高速コーナー。先の250Rと合わせて Spoon Curve に向かってシフトアップしていく豪快な走りが見られる。2輪専用のMuSASHiシケインは2004年に新設された。</p>	<p>9 スプーンカーブ</p> <p>ティースプーンのような形をしていることから命名された。60Rから200Rまで5つのコーナーからなるテクニカルな複合コーナーで、その脱出スピードが続く西ストレートでの最高速を左右する重要なポイント。</p>	<p>10 西ストレート</p> <p>約1kmにおよぶコースの中で最長の直線は最高速度がマークされるポイント。現在までの最速は、F1ドライバー キミ・ライコネンがマークした328.6km/h。130Rに向けて迫力の高速バトルが堪能できる。</p>
<p>11 130R</p> <p>西ストレートからわずかの減速で進入する130Rは、世界的にも有名な超高速コーナー。2003年の改修で85Rと340Rが繋がった複合コーナーとなったが、数々の伝説を生んだ名称はそのまま。</p>	<p>12 日立Astemoシケイン</p> <p>右一左と低速コーナーが連続するシケイン。オーバーテイクポイントのひとつで、数多くのドラマを生んだ。2輪と4輪ではコースが異なり、2輪は4輪よりさらに65m先が進入ポイントとなる。</p>	<p>13 最終コーナー~メインストレート</p> <p>最終コーナーは長い下りの右コーナー。ここ立ち上がり、続く約800mのメインストレートのスピードの乗りを左右する。2009年コントロールラインは、最終コーナー側に約88.4m移動された。</p>		

COURSE RECORD

コースレコード(参考)
 2020.4.1 現在

FORMULA 1 (予選)	1' 27" 064	→	1分27秒... 240.290
S.ベッテル(Ferrari SF90) 2019.10.13			1' 28" ... 237.559
			1' 29" ... 234.889
FORMULA 1 (決勝)	1' 30" 983	→	1' 30" ... 232.280
L.ハミルトン(Mercedes W10) 2019.10.13			1' 31" ... 229.727
			1' 32" ... 227.230
			1' 33" ... 224.787

SUPER FORMULA	1' 34" 442	→	1' 34" ... 222.395
N.キヤシマ(SF19 TOYOTA/TRD TRD01) 2020.10.26			1' 35" ... 220.054
			1' 36" ... 217.762
			1' 37" ... 215.517
			1' 38" ... 213.318
			1' 39" ... 211.163
			1' 40" ... 209.052
			1' 41" ... 206.982
			1' 42" ... 204.952
			1' 43" ... 202.963

SUPER GT (GT500)	1' 44" 319	→	1' 44" ... 201.012
野尻 智也(Honda NSX-GT) 2018.5.19			1' 45" ... 199.097
			1' 46" ... 197.219
			1' 47" ... 195.376
			1' 48" ... 193.567
			1' 49" ... 191.791

FORMULA 3	1' 50" 999	→	1' 50" ... 190.047
高尾 明誠(Dallara F312) 2017.4.22			1' 51" ... 188.335
			1' 52" ... 186.654
			1' 53" ... 185.002
			1' 54" ... 183.379

SUPER GT (GT300)	1' 55" 531	→	1' 55" ... 181.784
中山 雄一(LEXUS RC F GT3) 2018.5.19			1' 56" ... 180.217
			1' 57" ... 178.677
			1' 58" ... 177.163
			1' 59" ... 175.674
			2' 00" ... 174.210
			2' 01" ... 172.770
			2' 02" ... 171.354
			2' 03" ... 169.961
			2' 04" ... 168.590
			2' 05" ... 167.242
			2' 06" ... 165.914
			2' 07" ... 164.608
			2' 08" ... 163.322
			2' 09" ... 162.056
			2' 10" ... 160.809
			2' 11" ... 159.582
			2' 12" ... 158.373
			2' 13" ... 157.182
			2' 14" ... 156.009
			2' 15" ... 154.853
			2' 16" ... 153.715
			2' 17" ... 152.593
			2' 18" ... 151.487
			2' 19" ... 150.397
			2' 20" ... 149.323
			2' 21" ... 148.264
			2' 22" ... 147.220
			2' 23" ... 146.190
			2' 24" ... 145.175
			2' 25" ... 144.174
			2' 26" ... 143.186
			2' 27" ... 142.212
			2' 28" ... 141.251
			2' 29" ... 140.303
			2' 30" ... 139.368

コース距離×3600 = 平均速度
 ラップタイム(秒)

※上記の「ラップタイム&平均速度」は、4輪用フルコース(全長5.807km)を基準に算出したものです。

Machines À La Carte

レーシングマシンには大別してレース専用のマシンと(市販車レース用に改造したマシン)があります。前者はF1やスーパーフォーミュラなどのフォーミュラカーです。後者を代表するのが4輪ではSUPER GT(GT500・GT300)、2輪ではJSB1000やST600といったクラスです。

